

私の大嫌いな弟へ ブラザー&シスター

アルノー・デプレシヤン 監督来日!

〈デプレシヤン監督、語る〉
トーク・ツアー決定

東京

9/15(金) Bunkamura ル・シネマ 渋谷宮下

19:00の回上映後 日仏監督対談

アルノー・デプレシヤン × 大九明子(映画監督)

進行: 金原由佳(映画ジャーナリスト)

9/16(土) Bunkamura ル・シネマ 渋谷宮下

19:00の回上映後 Q&A

渋谷区渋谷1丁目24-12 渋谷東映プラザ 7F/9F

名古屋

9/18(月・祝) 伏見ミリオン座

10:45の回上映後 Q&A

愛知県名古屋市中区錦2丁目15-5

大阪

9/18(月・祝) シネ・リーブル梅田

14:00の回上映後 Q&A

大阪府大阪市北区大淀中1丁目1-88 3F/4F

京都

9/20(水) 京都シネマ

19:00の回上映後 Q&A

京都府京都市下京区水銀屋町620 COCON KARASUMA 3F

*トーク・ツアーの登壇者等は事情により変更の場合もあります。



日本の観客へ

『私の大嫌いな弟へ ブラザー&シスター』は、とても不幸な愛の物語です。しかし、良い結末が待っています。この映画で私が試みたのは、人生を修復すること。映画にはその力があると信じています。

公開に合わせて日本に伺えることをとても嬉しく思っています。日本の観客は、細かい部分まで映画を大切に見てくれる素晴らしい方たちです。皆さんとお会いできることに心を躍らせています。

アルノー・デプレシヤン 『私の大嫌いな弟へ ブラザー&シスター』監督

映画は人生を
修復する。

この映画を愛さずにいられない。
各界からコメント到着！

爆発的な感情が詰まった映画！デプレシャン監督は家族関係の中の隠された部分—彼らが長年経験してきたことでもあり、同時に彼らの秘密でもある—を深く掘り下げる。本作にもはっきりと現れているのは、ベルイマンを彷彿とさせる揺るぎない勇氣。

監督はやすやすと時間を飛び越え、記憶と現在の断片を組み合わせることで、純粹に映画的な体験をたくみに紡ぎだす。マリオン・コティヤールは、毎度のことだが、啓示を与えてくれる存在だ。他の人にはない気品とともに、悲しみと苦痛を表現している。彼女と仕事ができるのは特権的なことだ。彼女のように、最も矛盾する感情をもその存在の上に集約できる特性を備えた役者はそういない。並はずれた監督による重要な作品であり、映画を愛する全ての人に、このパワーを目撃することをすすめたい。

アレクサンダー・ロックウェル ※映画監督

誰かを憎むことで自分を救おうとすることがあるけれど、時間がたつにつれ今度は憎しみが自分を苦しめる。命が尽きるほど憎しみを育てる姉弟を見て、誰かを憎み続けることは憎まれることよりずっと苦しいのだと思い出した。自分の中にあつた醜い感情が一つ一つ露になるような不思議な映画体験でした。

鈴木涼美 ※作家

家族という屋根の下で繋がっている2人は、離れたくてもまた、会ってしまう。2人にできてしまった大きな溝は、とても複雑で、2人にしか分からない世界でした。私も、姉妹という関係の人間が近くにいる身ですが、憎しみに近いものを感じたことがなかったわけではありません。それは、一番近くに居て、長く相手のことを愛する時間があればあるほど、ついてまわる感情なのかもしれません。妹のように生きられたらどんなに楽しいだろうと思った時もありました。それが愛であり、羨ましさであり、憎しみにもなる。それが兄弟なのかもしれません。この映画の2人の気持ちを理解しきれたか、未だに分かりません。本人たちにしか感じ得ない、それはそれは深い愛でした。

小春(チャラン・ポ・ランタン) ※ミュージシャン

(敬称略・順不同)

あらすじ 姉アリス(マリオン・コティヤール)は有名な舞台女優で、弟ルイ(メルヴィル・プポー)は詩人。アリスは演出家の夫との間に一人息子がいて、ルイは人里離れた山中で妻と暮らしている。何が理由だったかは、もうわからないけれど、二人はもうずっと憎みあい、顔も合わせていない。そんな二人が両親の突然の事故によって再会するのだが……。憎しみの出口はどこ？ 幸せな結末はある？

2022 **カンヌ国際映画祭** コンペティション部門出品作 **私の大嫌いな弟へ** ブラザー&シスター

監督:アルノー・デプレシャン(『そして僕は恋をする』『クリスマス・ストーリー』)
出演:マリオン・コティヤール(『エディット・ピアフ〜愛の讃歌〜』『アネット』)、メルヴィル・プポー(『わたしはロランス』『それでも私は生きていく』)、ゴルシフテ・ファラハニ(『バターソン』)、パトリック・ティムシット(『歡樂通り』)
原題:Frère et sœur 英語題:Brother and Sister | フランス | 2022年 | 110分 | シネマスコープ | 5.1ch | 字幕:磯尚太郎 | 字幕監修:松岡葉子 | 配給:ムヴィオラ UNIFRANCE Saison Japon
© 2022 Why Not Productions - Arte France Cinéma 公式HP: https://moviola.jp/brother_sister X@brothersisterjip

9.15(金) Bunkamuraル・シネマ 渋谷宮下ほか全国順次ロードショー

—『私の大嫌いな弟へ ブラザー&シスター』公開記念— **アルノー・デプレシャン監督レトロスペクティブ**
これまでの全ての劇映画とドキュメンタリーを含む13作品を一挙上映

第5回映画批評月間 スペシャルエディション アルノー・デプレシャンとともに
期間 9/8(金)～9/29(金) **会場** 東京日仏学院 エスパス・イマージュ
<https://www.institutfrancais.jp/tokyo/agenda/cinema20230908/>

第45回ぴあフィルムフェスティバル アルノー・デプレシャン監督特集
期間 9/16(土)～9/22(金) **会場** 国立映画アーカイブ
<https://pff.jp/45th/lineup/arnaud-desplechin.html>

*どちらの会場でも監督トークを予定しています。上映作品・上映日時・トーク日時等は各公式HPよりご確認ください。